

ラッチのタイプ		
#1	#2	#3

図 2

図と異なるタイプの製品も取付方法は同様です。穴開け手順については、右面に記載しています。

① 図 1 (上) を参照し、取り付けるドアのバックセット寸法 (A) が、60mm と 70mm のどちらであるかを確認します。バックセット寸法が 70mm の場合は、ボルト上のスプリングピン (B) をつかみ、70mm に対応する溝に移動させてください。(右図参照)

② 図 2 を参照し、ラッチのタイプが #3 の場合は、以下の手順に従ってください。<タイプ「押し込み式」のラッチ> カラーの穴の向きを合わせてラッチのボルトを通してキャッチピン (C) の位置までスライドさせ、カラーのピンホール (D) にキャッチピンをはめ込みます。注：カラーを外す時は、カラーの両端を強くつまんで引抜いてください。<フェイスプレート付のラッチ>

(1) バックプレート (E) にラッチボルトを挿入し、(2) ボルト上で好みのフェイスプレートとはめ合わせます。

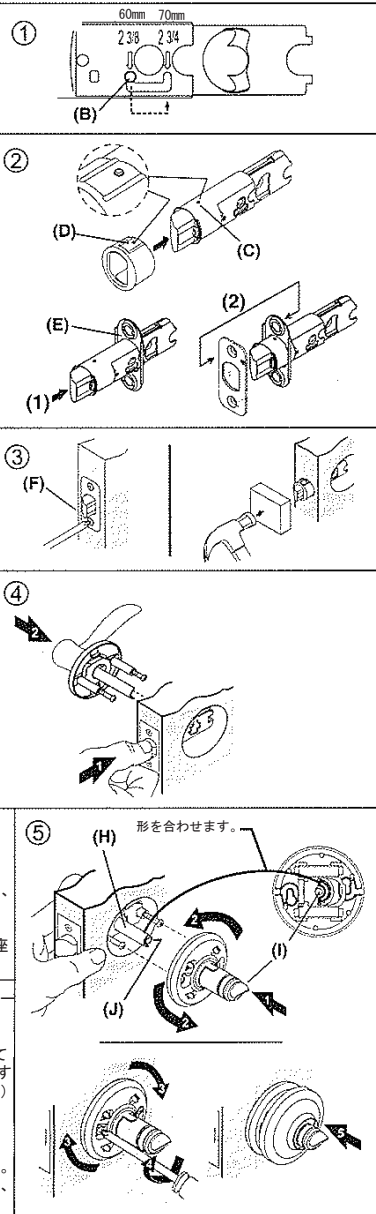
③ アの開まる方向にラッチの斜めになっている側 (F) が向くように、ラッチを取付けます。(押し込み式) のラッチをはめ込む際は、ハンマーを直接当てず、木片の上から押込むようにして下さい。

④ (1) ラッチのドア側面に突き出している部分を押し入れ、(2) ステム付レバーを取り付けます。注：(先端の) ネジを外さないでください。(厚板ドア用の長いネジに交換する場合を除く)。

⑤ 組立済みの室外側レバーを、ロックがかかっている状態でドアに密着させ、(1) 半月形スピンドル (H) とネジの列にレバーの向きを合わせます。タイプ「タイプ」または鍵付のタイプは、つまみ (I) を回転させ、円形のロックスピンドル (J) と台座の穴を正しく合わせます。(2) 台座をゆっくりと押し、ネジの頭が触れたら反時計回りに回転させてネジを台座に通し、ドアに当たるまで押し込みます。(3) 台座を逆回り (時計回り) に回転させ、台座の裏の溝にネジをかみ合わせます。(4) ネジを締めます。(注：場合により定期的に締め直す必要があります)。(5) 台座にカバーをつけます。

⑥ カバーをつけた室内側の台座に、レバーを取り付けます。(K) 図を参照し、レバーの向きが正しいことを確認したら、固定ネジをレンチ (L) で締めてレバーを固定してください。(注：固定ネジは時計回りに回すと締まり、反時計回りに回すとゆるみます) レバーの向きが違う場合は、室外側のレバーと交換してください。レバーを取り外すには、固定ネジをレンチ (L) でゆるめ、レンチを離し、レバーをスライドさせます。鍵付のタイプの室外側のレバーを外すには、室内側のロックを解除し、固定ネジの穴にレンチの長い方を深く差し込んで固定ネジをゆるめ、レンチを抜いてレバーを外してください。レバーを正しい向きに取り付けると固定ネジをレンチで締めてください。

⑦ ストライクプレート (M) を取付けます。ラッチとストライクプレートのかみ合わせが適当でない場合は、タン (N) を調節すると改善できます。注：ラッチの小ボルト (O) がストライクプレートの穴に入り込むとロックが適切にできなくなります。必要に応じてストライクプレートの位置を調節してください。



#### ドアの穴開け

1. ラッチはバックセット寸法に合わせて 2 種類のサイズに調節ができます。バックセット寸法は、60mm と 70mm のどちらか適当な方を選んでください。テンプレートの折り目 (B) をドアのコーナーに当て、床から 60mm の高さに中心線を合わせます。選択したバックセット寸法 (A) に対応するドア正面の穴 (C) の位置と、ドア厚に対応した側面の穴 (D) の位置にマークをつけます。

2. 1. でマークをつけた位置に、径 3mm の下穴を開けます。下穴は、ドア正面は貫通させ、ドア側面は 51mm 深さになります。

3. 径 54mm の貫通穴を開けます。

注：ドア表面の裂けを防ぐため、ドアの厚さの半分まで開けたら、残りの半分は反対側から開けます。

4. ドア枠に取り付けるストライクプレートの穴の位置をマークします。ドアを開め、ドア正面の穴 54mm の内側から、ドア側面の下穴に長さ 51mm の釘を差し込み、ドア枠 (E) に当たるまで押し込んで釘の先で跡をつけます。

5. ドアの側面に径 25mm の穴を開け、ドアの正面の穴 54mm まで貫通させます。

6. ドア枠 (E) に径 25mm 深さ 16mm の穴を開けます。

7. ドアの側面にフェイスプレート (F) の付いたラッチをはめ込み、フェイスプレートの輪郭をドアの側面に描き、内側を 4mm 彫り込みます (フェイスプレートがないラッチにはこの作業は必要ありません)。取付ネジ用に、ネジの長さと同じ深さの径 2mm の下穴を開けます。

8. ドア枠 (E) に取り付けのストライクプレート (G) の位置を合わせて輪郭を描き、内側を 1.6mm 彫り込みます。取付ネジ用に、ネジの長さと同じ深さの径 2mm の下穴を開けます。

